

はい！ポーズ😊

8月生まれのみんな お誕生日おめでとう。



かわだ ひとし
河田 仁志くん H17.8.1生
仁志、誕生日おめでとう。1年前の今日、頑張ってくれたお母さんに「ありがとう」を言おうね。これからも楽しくお互いに成長していこう。父より岩村町富田
文仁さん・小都美さん



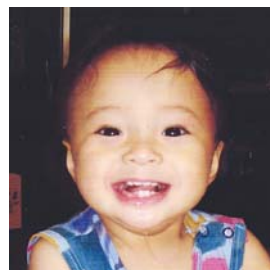
いちかわ じゅりあ
市川 琉璃亜ちゃん H17.8.9生
Happy Birthday Julia!パパとママの子どもとして生まれてきてくれてありがとう。パパもママも、そのままのありのままのジュリアが大好きです。
東野小麦田
カートさん・公子さん



なるせ こうた
成瀬 光太くん H17.8.11生
お誕生日おめでとう！家族7人が光太の成長を楽しみにしています。兄ちゃんと元気に遊んで大きくなろうね！
岩村町一色
正道さん・美穂さん



はせがわ
長谷川 まりちゃん H17.8.14生
体は小さいけど病気一つしない健康で元気なまりちゃん。これからもエリナパワーで美しく元気に育ってね！
上矢作町下2班
健太郎さん・真子さん



おおしま かんすけ
大島 貫介くん H17.8.17生
貫介の笑顔はみんなの宝物です。これからも元気いっぱい、笑顔いっぱい大きくなってね。
上矢作町下4班
孝介さん・優子さん



たきた さあや
田北 紗彩ちゃん H17.8.21生
お姉ちゃん、お兄ちゃんに負けないよう元気いっぱい大きくなってね。これからも最高の笑顔をよく。誕生日プレゼントは何がいいかな？
明智町の場町
浩二さん・美由紀さん



むらかみ ゆうな
村上 侑奈ちゃん H17.8.21生
あっという間の1年間、無邪気で伸び伸びと成長してくれました。これからも天真らんまん笑顔絶やさず思い出たくさん作ろうね！
明智町東山3
保明さん・友紀さん



しのはら りょうせい
篠原 涼星くん H17.8.23生
お誕生日おめでとう。毎日すくすく成長している姿を見ると、とっても幸せな気持ちになります。これからも元気いっぱい大きくなってね。
大井町野畑2
直人さん・美穂子さん



やまもと ゆうと
山本 優人くん H17.8.24生
お誕生日おめでとう。優人が生まれてきてから本当に幸せな1年でした。これからもいつも笑顔ですくすく育ってね。
長島町正家下
博夫さん・弥生さん



いとう さくや
伊藤 咲哉くん H17.8.24生
すくすく元気に大きく育った咲哉くん。1歳の誕生日おめでとう。いつの日かパパを超える日が来るのを楽しみにしています。
長島町中野大洞第3事業団
尚範さん・百合さん

9月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で写っているもの)の裏に住所および自治会名、氏名、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、8月15日(火)までにお申し込みください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

申し込み・問い合わせ 〒509-7292 恵那市長島町正家 恵那市役所まちづくり推進課広報広聴係



恵那の味・つたえ隊に参加
富田愛菜グループ代表

ごとう ふみこ
後藤 富美子さん

岩村町富田・70歳

「恵那でしか食べられない郷土料理を味わってもらい、その味を伝承していきたい」と話すのは、本年6月に発足した「恵那の味・つたえ隊」で活躍する後藤富美子さん。

「恵那の味・つたえ隊」は、市内の農業女性グループや個人の集まりで、「恵那の味」を通じて食の大切さを多くの人に伝えようと、恵那の郷土料理を幅広く伝えたり、「地産地消」を推進したりする活動を展開している。現在、11グループと個人参加3人で構成され、後藤さんは、代表を務める岩村町の「富田愛菜グループ」で参加。よもぎもちや朴葉ずし、野菜を使った寒天料理の講座で講師を務めるなど、その活動の場を広げている。

「講師をするとき、旬の食材が分からなかったり、恵那の郷土料理を食べたことがなかったりする児童・生徒が少なくない」という。「今はスーパーに行けば季節に関係なくどんな食材でも揃う時代。買ってきた方が早いと言われることが多くなった」と便利になった反面、季節感や食材に対する関心が薄れていることを危惧する。「畑や田んぼの仕事は本当に手間の掛かること。しかし、そこで得られる安全、安心の食材はやはり旬の時にしか手に入らない」と後藤さんは言う。

便利になった今だから



岩村の味講座の講師を務める後藤さん(左手前)

得意とする料理は「漬物」で、自宅で収穫した野菜で作る「辛子漬け」は塩分を控え、辛子の風味が口いっぱいに広がる「ご飯の進む」一品である。また所属する「富田愛菜グループ」では、岩村の厳しい冷えこみと乾燥した気候を生かし、冬季限定で「芋きり干し」「芋姫様」を作っている。サツマイモから出る天然の甘みと、素材の出す深い味わいで幅広い年齢層に人気がある。

昔ながらの郷土料理は、旬や地域性がストレートに表現されるだけに「若い人をはじめ、多くの人に興味を持ってもらえれば」と、これからも郷土料理を伝承する後藤さんの活動は続く。

